

現行版(平成24年11月改定)

学校教育

ふじさわビジョン

～ 明日の藤沢を担う子どもたちのために ～



藤 沢 市 教 育 委 員 会

基本理念

子どもたちがともに育つ場をつくりだし

- ◆ 自己の知 ◆
- 状況の知 ●
- かかわりの知 ■

を育む

◆ 自己の知 ◆ ～ 自己を知り 拓く知 ～

自分自身を客観的に見つめ、未来に向けて自分を成長させていく知
自分とは何か、周りの人とどのようにつながっているか、自分は何をしたいのか等を
自己評価し、自己有用感、自己表現、自己啓発につなげていく知

● 状況の知 ● ～ 状況を見極め 対応する知 ～

周りの変化や求めを感じ取り、自分自身が状況をしっかり見つめ、判断し、取るべき
行動様式を身につけていく知

■ かかわりの知 ■ ～ 「ひと」「もの」「こと」との関係性をつくるための知 ～

さまざまな人々との関係や社会との結びつきをつくろうとする知
自然や歴史上の事柄や祖先の知恵など目に見えないものともつながろうとする知



ここでいう「知」とは、「ひと」「もの」「こと」との関係の中で、子どもの中に育まれる能力であり、社会に関わろうとし、周囲の状況を見極めながら行動できる「知」を意味し、一般的な「知識」として身につける「知」とは異にするものです。子どもたちに言葉だけの知識を覚えさせるのではなく本当にその子どもの身についた、生きて働く知識としての「知」を育む必要があると考えます。

■ ■ 学校教育ふじさわビジョンのめざすもの ■ ■

めざす子ども像



- ◆ 未来を切り開いていくことのできる
「生きる力」にあふれた
たくましい ふじさわの
子ども
(3つの知)

- いつも夢や希望を持つ
- 自分や他人を大切にする
- 困難な状況にあっても粘り強く対処する
- 自分を生かし、人に役立つ
- とともに育つ

めざす学校像



- ◆ 子どもたちに学力の基礎・基本の定着を図り安心してともに学び、ともに育つ学校
- ◆ 広く地域（市民）と協働する学校

- 子どもたち一人ひとりを大切にする
- 子どもの声が響き、笑顔があふれている
- 保護者、地域とともに歩む
- 子どもの育ちをチームで支える



めざす教師像



- ◆ 専門家としての責任とプライドを持ち、子どもたちの学びを支えるために「ひと」「もの」「こと」とのかかわりの中で、学びをデザインする教師

- 子どもに寄り添い、子どもの豊かな成長を支える
- 子どもたち一人ひとりの可能性を引き出し、伸ばす
- 豊かな人間性を持ち、子ども・保護者から信頼される
- 自分自身を高めるとともに、学びあう姿勢をもつ

■ ■ ビジョンの実現に向けて ■ ■

学校教育ふじさわビジョンは、教師はもちろん学校教育に携わる全教職員が、また、教職員と保護者や地域の人たちが、心を合わせて明日のふじさわをつくる子どもたちを育てることを目指して作成したものです。

各学校においては、学校教育ふじさわビジョンの理念を十分に理解し、その実現に向けて努めるとともに、理念を念頭に置いた自らのビジョン(学校の教育目標)のもとに、教育活動を実践します。そして、年度末には、一年間の教育活動を振り返り、

- 子どもたちがどう育っているか
- 教育目標がどの程度達成されたか

を、自ら評価し、次年度の教育計画に生かして学校の教育目標の実現を目指します。

■ ■ 策定から改定までの成果と課題 ■ ■

前回、学校教育ふじさわビジョンを策定してから、各学校においては、学校教育目標にその理念を取り入れ、教育委員会としては、5つの重点目標の具現化に向けて各学校を支援してきました。

◆ ◆ 成果 ◆ ◆

① 指導方法の工夫改善と指導の充実

- 児童生徒一人ひとりを大切にする学校教育の充実
- 小学校外国語活動充実のための外国語指導講師（FLT）による学校訪問
- 中学校学習支援事業による学習支援の充実
- 特別支援教育充実のための特別支援学級の新設と新たな通級指導教室の検討
- 介助員派遣事業の充実

② 教職員の研修・研究の充実

- 教師の資質向上、指導力向上のための研修の充実
- 授業改善のための教育研究の充実

③ 創意工夫ある教育課程の推進

- 学校の実態や地域の状況に合わせた教育課程の編成や研究の充実
- 中学校 LAN 整備など情報教育の充実
- 学校図書館専門員の小・中学校全校への配置と学校図書館の充実

④ 開かれた学校づくり

- 学校評価の充実とホームページの充実
- 学校支援コーディネーターの配置
- 「地域に開かれた学校」の研究推進

⑤ 児童生徒の健全育成のための相談・指導体制の充実

- 相談機能充実のために藤沢市学校教育相談センターを2008年（平成20年）に開設
- スクールカウンセラーを、小・中学校に週1日派遣

◆◆ 課題 ◆◆

① 引き続き取り組むべき課題

- いじめ・暴力行為・不登校にかかる課題
- 長期的な視点での子どもの育成を図るための幼稚園・保育所・小学校・中学校・特別支援学校間の連携のあり方
- 特別な教育的支援を必要とする児童生徒の増加への対応
- 保護者・地域との連携のあり方

② 各種調査結果から、今後取り組むべき課題

- 「全国学力・学習状況調査」の結果から、知識に関する問題の正答率に比べ、活用に関する問題の正答率が低い傾向がみられ、筋道をたてて考えたり、自分の考えを整理して表現したりする力をつける
- 「全国体力・運動能力、生活習慣等調査」の結果からは、年齢が上がるにつれて、運動をする子としない子がはっきりと分かれる傾向がみられ、健康体力、生活習慣について、食育も含めた指導のあり方を研究する
- 「学習意識調査」(教育文化センター実施)の結果からは、児童生徒にとって学校が友だちづきあいの場として重要な意味を持っていることがわかり、そうした学校の役割も大切にしながら、意欲を持って学習に臨めるような授業のあり方を研究する



■ ■ 藤沢市教育振興基本計画と学校教育ふじさわビジョン ■ ■

藤沢市では2011年（平成23年）3月に、藤沢市の教育のこれまでの取り組みを整理し教育に関する総合的な中期計画として、**藤沢市教育振興基本計画**を策定しました。

基本理念として、**未来を拓く「学びの環」ふじさわ ～学びを通して人と地域がつながる生涯学習社会、ふじさわを目指す～**を掲げ、3つの目標、7つの基本方針を掲げました。

藤沢市教育委員会では、これ以前に、藤沢市の学校教育はどうあるべきか、そのめざす理念について示し、今、学校が重点的に取り組むべきことを提起した**学校教育ふじさわビジョン**を2003年（平成15年）に策定しています。

今回**藤沢市教育振興基本計画**の策定を受け、その目標のもとに、学校教育に特化した理念として**学校教育ふじさわビジョン**を改定しました。

藤沢市教育振興基本計画の基本理念

未来を拓く「学びの環」ふじさわ

藤沢市教育振興基本計画の目標

- ① 一人ひとりの夢を育み、未来を拓く子どもを育成する
- ② 多様な学びをつなげる生涯学習ネットワークを構築する
- ③ 学校・家庭・地域・行政が連携、協働する子育て、教育支援体制を推進する

学校教育ふじさわビジョンの基本理念

子どもたちがともに育つ場をつくりだし

- ◆ 自己の知 ◆
- 状況の知 ●
- かかわりの知 ■

を育む

学校教育ふじさわビジョン（改定版）

発行 2012年（平成24年）11月

藤沢市教育委員会教育指導課

藤沢市朝日町1-1

(0466)25-1111